

産婦人科・泌尿生殖器科

婦人科

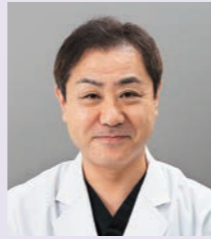
病棟 東病棟 6F、7F / 西病棟 6F / 西病棟 3F (CCU)

外来 外来診療棟C 1F 連絡先 022-717-7745 (婦人科外来)

ホームページ <http://www.ob-gy.med.tohoku.ac.jp/>

主な対象疾患

- 子宮頸がん ●子宮体がん ●卵巣がん ●外陰がん ●骨盤内腫瘍 ●月経異常 ●性分化異常、習慣性流産 ●不妊症 ●子宮内膜症 ●子宮筋腫 ●子宮脱



科長
新倉 仁 特命教授

診療内容

3次医療機関として重症の患者さんの管理にあたり、先進医療や高度精密検査法の施行・開発を行い、より安全で確実な医療に貢献すべく邁進しております。希少疾患、難治症例、重症例に対する対応はもちろんだが、通常の婦人科疾患についても他科との連携が必要な合併症を有する症例を中心に対応しております。悪性腫瘍を中心とした手術を年間約500件扱っています。

腫瘍分野

年間200症例以上の悪性腫瘍に対して世界標準治療を導入した治療実績に加え、機能温存を重視しかつ十分な制がん効果を有する治療の展開に取り組んでいます。具体的な取り組みとしては、
 ・子宮頸がん・子宮体がんのセンチネルリンパ節生検を利用した系統的リンパ節郭清の省略によるリンパ浮腫の軽減、リンパ節転移の検出感度の向上
 ・子宮頸がんの膀胱機能温存術式の精度向上
 ・子宮頸がんの妊孕能を温存した広汎子宮頸部切断術
 ・臨床治験、医師主導臨床試験の実施
 ・ロボット支援手術を含む腹腔鏡下の子宮悪性腫瘍手術など、これまでにない新しい婦人科腫瘍の取り組みを展開しています。

生殖分野

一般不妊から高度生殖補助技術まで多岐にわたり取り組んでいます。また、鏡視下手術(腹腔鏡下手術、子宮鏡下手術、卵管鏡下卵管形成術)にも積極的に取り組んでいます。排卵誘発時などの管理を適切に行えるように、ホルモン検査などは産婦人科内で施行し、病棟内には最新ARTユニットを有しております。

女性漢方分野

更年期障害や月経前症候群をはじめとした、不定愁訴に対して、「心身一如」心と体を1つにとらえて診療する漢方治療は、症状改善に有効な場合を多々認めます。漢方治療・西洋医学の両面から、女性の皆さまのつらい症状の改善を目指したいと考えております。

ご紹介いただく際の留意事項

- 緊急性が考慮される症例の場合は、必ずご紹介前に当科外来にご一報ください。

産婦人科・泌尿生殖器科

産科

病棟 東病棟 6F、7F / 西病棟 6F / 西病棟 3F (CCU)

外来 外来診療棟C 1F 連絡先 022-717-7746 (産科外来)

ホームページ <http://www.ob-gy.med.tohoku.ac.jp/>

主な対象疾患

- 切迫早産 ●切迫流産 ●妊娠高血圧症候群 ●前置胎盤 ●癒着胎盤 ●合併症妊娠 ●子宮内胎児発育遅延 ●弛緩出血 ●子宮内反症 ●産道血腫 ●重症妊娠悪阻 ●帝王切開術後合併症 ●妊娠糖尿病 ●血液型不適合妊娠 ●子宮頸管無力症 ●HELLP症候群 ●羊水過多症 ●羊水過少症 ●一絨毛膜二羊膜性双胎 ●常位胎盤早期剥離 ●胎児骨系統疾患



科長
齋藤 昌利 特命教授

診療内容

当科は三次医療機関・総合周産期母子医療センターとして、県内のいわゆるハイリスク妊娠、ハイリスク分娩症例を主に扱っています。その内訳疾患は、子宮内胎児発育遅延症例、合併症妊娠症例、前置胎盤症例、双胎などなど非常に多岐に渡りますが、専門他科と連携しながら、より良い妊娠・分娩を目指して診療を行っており、年間の分娩数は全国の国公立大学の中でもトップクラスの約900件となっています。また、その他にも県内の一次・二次医療機関から産後の弛緩出血症例をほぼ全例受け入れ、麻酔科・救急部・輸血部と連携しながら先進的かつ効率的な診療を行っています。

日々の診療では、最新の超音波診断装置を用いて、胎児の形態評価のみならずより細かい胎児の心機能評価も行い、新生児科と密に連携を取りながらベストなタイミング、ベストな方法での分娩を突き詰めて診療しています。また、切迫早産の原因となる子宮内炎症の評価のために羊水内のサイトカイン測定などを行い、より厳格な診断基準の下、胎児の娩出時期の決定と愛護的な帝王切開術の施行に努めています。

このような日常診療の他に、県内の周産期救急搬送症例のコーディネーター業務も行っており、一次・二次施設で発生した救急症例をどの病院にいつ搬送するのかといったコーディネートも行なっています。その連絡件数は年間約500件のほり、そのうち約200件を当院で受け入れています。



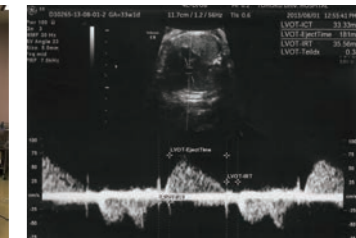
処置室1
経腹超音波・経膈超音波診断装置を有する広く明るい処置室です



処置室2
最新の超音波診断装置を有する処置室です



分娩室
緊急手術にも対応可能な分娩室です



超音波検査による血流評価
超音波診断装置を用いて胎児の心機能を詳細に評価しています

ご紹介いただく際の留意事項

- 緊急性が考慮される症例の場合は、必ずご紹介前に当科外来にご一報ください。